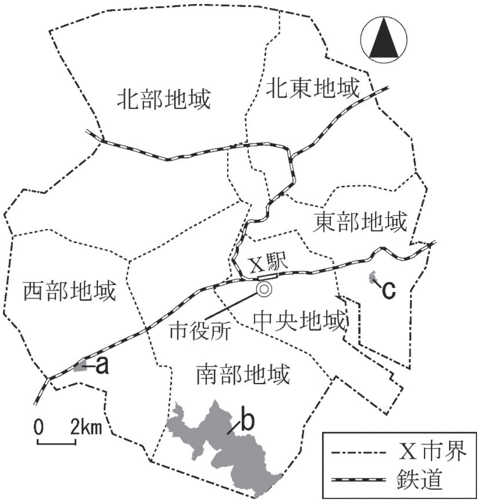
第６講　2025年度 試作問題 第6問

第６問　高校生のジュンさんたちは，日本の国土像を考えるために，自分たちの住む地方中核都市のＸ市を事例に，持続可能なまちづくりについて探究することにした。この学習に関する次の問い（**問１～７**）に答えよ。（配点　24）

問１　ジュンさんたちは，Ｘ市の中でも地区によって特徴が異なることに気づき，次の**図１**中の地区**a**～**c**におけるいくつかの指標を調べ，後の**表１**を作成した。**表１**中の**ア**～**ウ**は，地区**a**～**c**のいずれかである。**a**～**c**と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 24



地区**a**：軽工業の工場や大型の量販店などに隣接した低層のアパートやマンションが立地

地区**b**：2005 年にＸ市と合併した農村地域で，庭のある敷地面積の広い住居が散在

地区**c**：最近になって造成された住宅地で，主に戸建て住宅が立ち並ぶベッドタウン

Ｘ市の資料などにより作成。

図１　３地区の位置とその特徴

表１　３地区の世帯と人口に関する指標

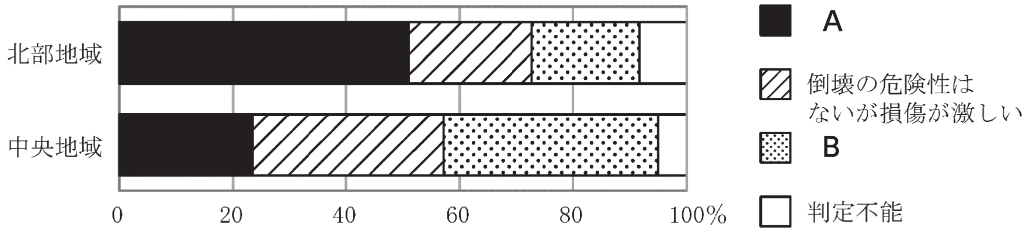
（単位：%）

	単身世帯の割合	年少人口の割合
ア	53.3	14.7
イ	22.8	10.4
ウ	4.6	35.8

統計年次は 2015 年。国勢調査により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
地区a	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
地区b	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
地区c	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問２　ジュンさんたちは，空き家問題に注目して次の**図２**を作成し，それをもとにした考察を後の文章にまとめた。**図２**中の凡例**A**と**B**は「倒壊の危険性がある」と「利活用できる」のいずれか，文章中の空欄**カ**と**キ**は「集合住宅」と「戸建て住宅」のいずれかが当てはまる。「倒壊の危険性がある」の凡例と「集合住宅」が当てはまる空欄との組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25



統計年次は 2015～2016 年。X市の資料により作成。

図２　空き家についての状況

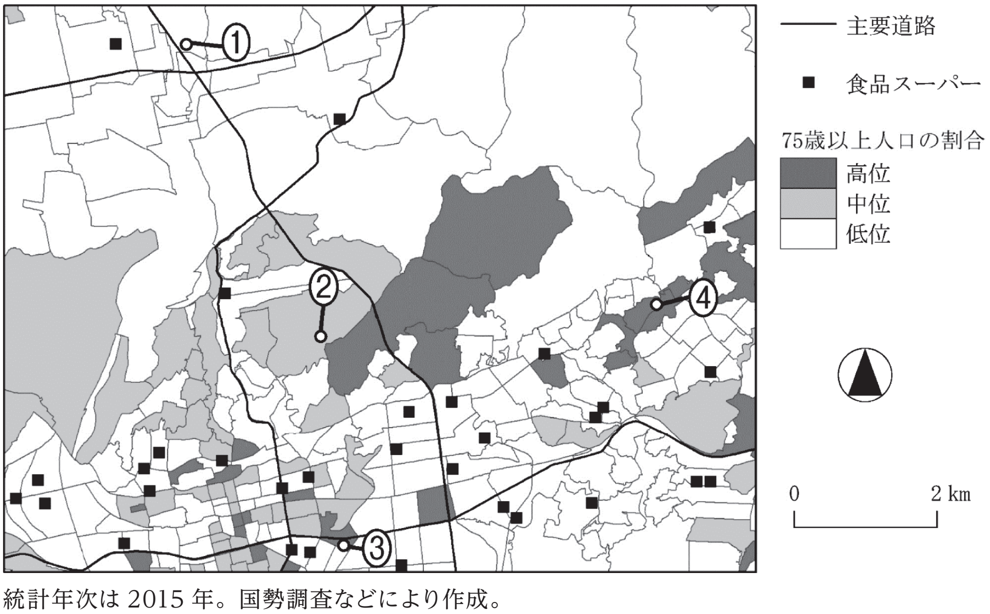
空き家の状況は，**図２**のとおり，山地が広がる北部地域と市街地の広がる中央地域では差異がある。北部地域では，（　**カ**　）の空き家の割合が中央地域より高い。それに対し，中央地域では，（　**キ**　）の空き家の割合も高い。

	①	②	③	④
倒壊の危険性がある	A	A	B	B
集合住宅	カ	キ	カ	キ

問３　ジュンさんたちは，Ｘ市内のある地区で買い物に関する聞き取り調査を行い，次の**資料１**と，聞き取り調査の内容に関する後の**図３～５**を作成した。ジュンさんたちが聞き取り調査をした地区として最も適当なものを，**図３～５**中の①～④のうちから一つ選べ。 26

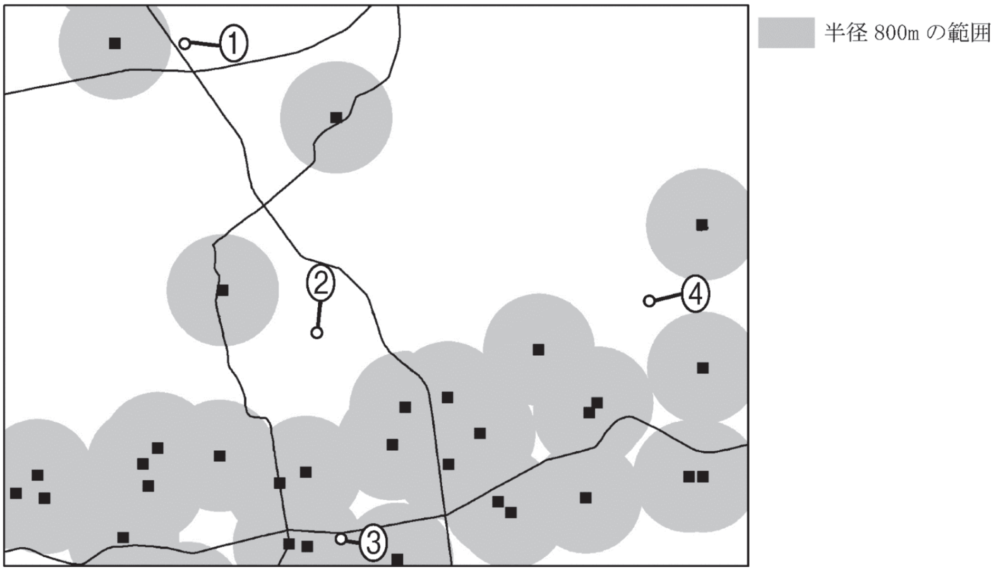
資料１　聞き取り調査の結果

・この辺りは，50 年前に大規模に造成された住宅地である。
・開発当時の入居者は，30 歳前後の世代とその子どもが多かったが，その後，進学や就職，結婚を機に若者が転出し，今では高齢化が進んだ地域となった。
・食品スーパーへ買い物に行くには自家用車が使えれば問題ないが，歩いて行くには遠く，坂道が多いため自転車も使いにくい。
・バスの本数が少なく，食品スーパーまで遠回りで時間も運賃もかかる。
・高齢となり自家用車を使えなくなった世帯は，食品スーパーに行くことが困難になっている。



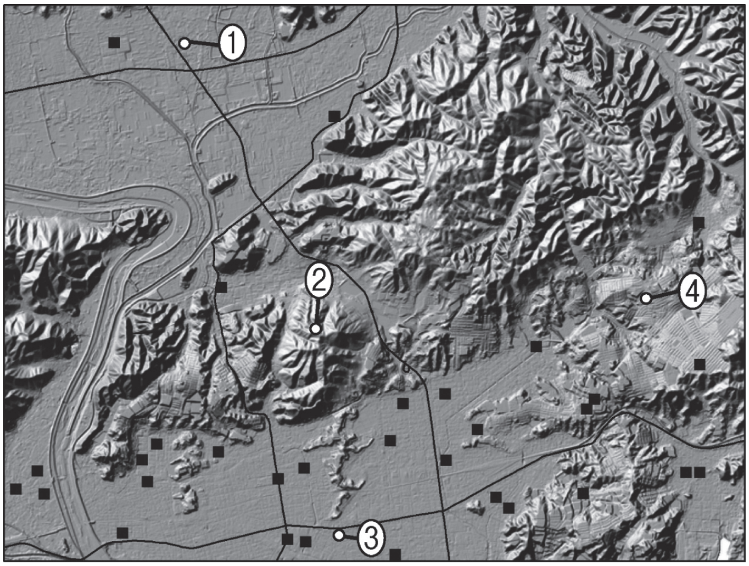
統計年次は 2015 年。国勢調査などにより作成。

図３　食品スーパーと地区別の 75 歳以上人口の割合



国土数値情報などにより作成。

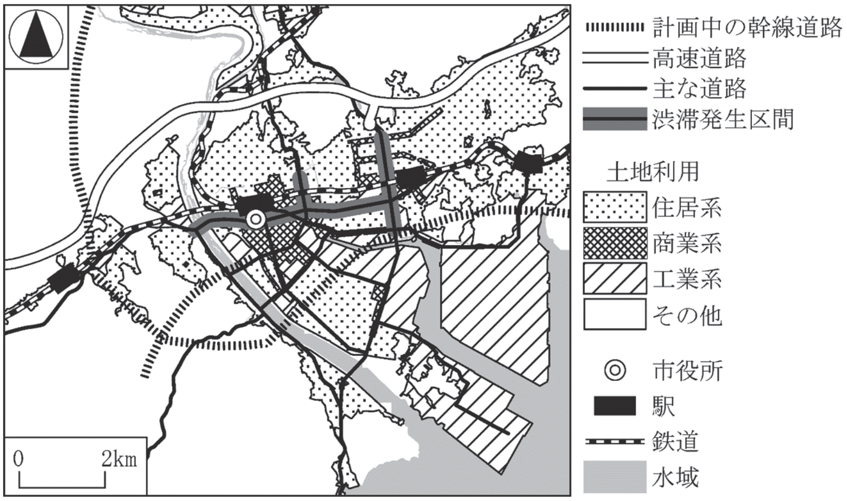
図４　食品スーパーとそこから半径 800m の範囲



地理院地図などにより作成。

図５　食品スーパーと陰影起伏図

問４　ジュンさんたちは，モータリゼーションの進展に伴い，Ｘ市で交通渋滞が問題となっていることを知った。次の**図６**は，Ｘ市における渋滞発生区間などを示したものである。また，後の文章は，ジュンさんたちによる市役所の職員への聞き取り調査をまとめたものである。空欄**サ**と**シ**に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 27



国土数値情報，基盤地図情報などにより作成。

図６　Ｘ市における土地利用と主な渋滞発生区間および計画中の幹線道路

交通渋滞は，市内の住居系と商業・工業系の地域間を結ぶ幹線道路において，発生することが多い。また，Ｘ市内が出発地でも到着地でもない，市内を（　**サ**　）方向に通過するだけの交通によっても，渋滞は引き起こされている。

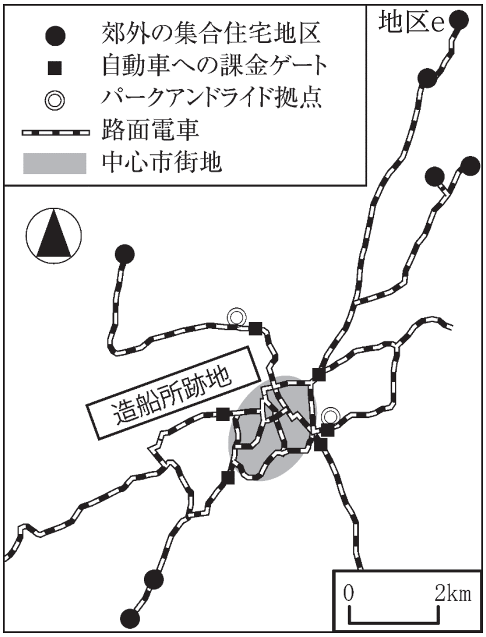
Ｘ市は，市中心部への交通を分散させたり，通過するだけの交通が市中心部へ流入することを減らしたりすることで渋滞緩和を目指しており，（　**シ**　）型の幹線道路網の構築を計画している。

	①	②	③	④
サ	東　西	東　西	南　北	南　北
シ	格子状	放射・環状	格子状	放射・環状

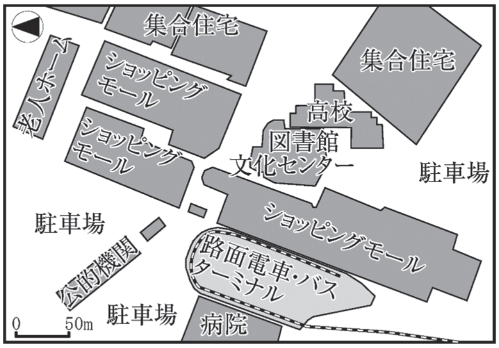
問５　ジュンさんたちは，Ｘ市のまちづくりの参考となる外国の事例はないか先生に相談した。先生にもらったスウェーデンの都市Ａに関する次の**資料２**について考察した文章中の下線部①～④のうちから，**誤りを含むもの**を一つ選べ。

28

資料２　都市Ａの地図と写真



都市Ａの概要



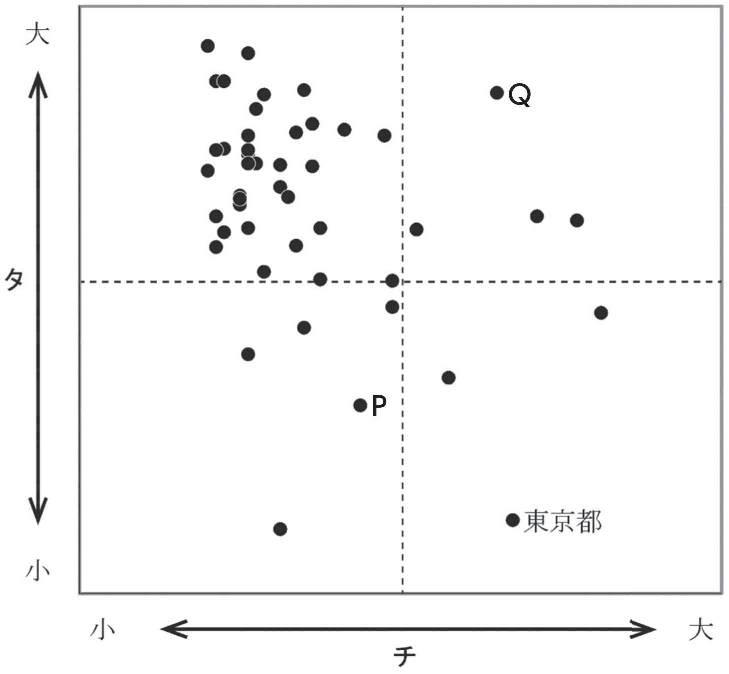
地区ｅの案内図

サイエンスパーク

都市Ａの資料などにより作成　　（編集部追記：編集上の都合により代替写真に差し替えております。）

都市Ａでは，パークアンドライド拠点を設置することで，①<u>中心市街地の交通渋滞を緩和させようとしている</u>。また，②<u>中心市街地から郊外へ向かう</u>自動車への課金ゲートを，中心市街地の周辺に設置している。都市Ａでは，郊外の集合住宅地区まで路面電車が延びており，③<u>車を所有しない人でも外出しやすい</u>まちづくりを目指していることがわかる。さらに，サイエンスパークの設置によって，大学や企業の研究機関などの④<u>知識集約型産業の誘致により，産業衰退地区を再生しようとしている</u>。

問６　ジュンさんたちは，持続可能なまちづくりには生活の質を意識する必要があると考え，住まいと生活時間に注目した。次の**図７**中の**タ**と**チ**は都道府県別の平均通勤時間と持ち家住宅率のいずれか，**P**と**Q**は奈良県と福岡県のいずれかである。持ち家住宅率と奈良県との正しい組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29



図中の破線は全国平均を表す。
統計年次は平均通勤時間が 2016 年，持ち家住宅率が 2018 年。
住宅・土地統計調査などにより作成。

図７　持ち家住宅率と平均通勤時間

	①	②	③	④
持ち家住宅率	タ	タ	チ	チ
奈良県	P	Q	P	Q

問７　ジュンさんたちは，最後に，持続可能なまちづくりについて話し合った。次の会話文中の下線部**マ**～**ム**と，それらを解決するための取組み**S**～**U**との組合せとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 30

ジュン　「大都市は，公共交通機関も充実して便利だし，お店も多くて買い物もしやすいね。そんなまちづくりをすれば暮らしやすくなると思うよ」

ヒカリ　「持続可能なまちづくりには，利便性の高さだけではなく過密の問題の解決も重要だと思う。**マ**大都市は便利だけど家賃がとても高いし，人が多くて通勤ラッシュも激しいね」

ジュン　「そう考えると，大都市よりも地方都市の方が住みやすいのかな」

アズサ　「X市もそうだったように，地方都市は，車社会で交通渋滞が発生している一方，車が運転できない人の中には買い物に困る人もいたよ。**ミ**車がなくても暮らしやすいまちづくりを目指すべきだと思うよ」

ユウキ　「X市で空き家のことについて調べたけど，空き家を放置していると老朽化して危険だから，持続可能なまちにはならないと思う。なんとかして**ム**空き家を活用してもらう方法を考えるべきだと思うよ」

ジュン　「国内の他地域の取組みや海外の取組みなども参考に，持続可能なまちづくりについて引き続き考えてみよう」

解決するための取組み

S　住宅や商店，病院などの生活関連施設を一定の範囲内に再配置する。

T　大企業の本社や国の行政機関の地方都市への移転を促す。

U　地方移住を希望する人に受け入れ側が経済的な支援を行う。

	①	②	③	④	⑤	⑥
マ	S	S	T	T	U	U
ミ	T	U	S	U	S	T
ム	U	T	U	S	T	S

第 6 講　2025年度 試作問題 第 6 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号 (配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 6 問 (24)	1	24	1	4
	2	25	2	3
	3	26	4	4
	4	27	2	3
	5	28	2	3
	6	29	2	3
	7	30	3	4